

架け橋

～広域紋別病院だより～



病院屋上から興部方面の夕焼け

目次

1. 表紙（病院屋上から興部方面の夕焼け）
2. 診療部から（小児科）
3. 医療技術部から（薬剤係）
4. 看護部から（教育委員会）
5. 病院で働く専門職（日本糖尿病療養指導士）
6. 健康レシピ（栄養指導係）
7. クイック検診について
8. 病院行事報告・職員の募集について・編集後記

病院理念

みなさんと心をひとつに、互いに尊敬と感謝の気持ちを共有し、笑顔の医療を提供します。

- 常に、質の高い医療を安全・確実に提供します。
- 生命、人としての尊厳を敬い、心のかよう医療を提供します。
- 人材の育成に努め、働く喜びを共有できる環境づくりを進めます。

診療部から

～総合小児科紹介～



小児科医師 今西 梨菜

4月より当院小児科に赴任いたしました、今西と申します。

子どもたちの笑顔と健康のために頑張りますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

現在の当院小児科は、須貝医師、松尾医師、私の3人体制です。

主にオホーツク西紋別地域に住む小児の内科的疾患の診療を行っています。

外来診療では、上気道炎（かぜ）を初めとして、咽頭炎、肺炎、胃腸炎、熱性けいれん等といった急性疾患が多いですが、気管支喘息、アトピー性皮膚炎、腎炎等の慢性疾患にも対応しております。

また、小児内分泌、小児血液、小児神経、小児心臓といった各専門外来では専門医による定期的なフォローアップが必要な患児を診療しております。



入院治療が必要な患児は、ほとんどのお子さんが急性疾患であり1週間程度で元気に退院されます。

しかし、より高度な治療が必要な場合には旭川や札幌等の高次医療機関へ橋渡しを行います。

子どもたちは素晴らしい回復力を持っていますが、免疫力も体力も精神力も未熟です。

元気な時を喜びつつ、不調の時には周囲の大人がなるべく早く気がつき、守っていきましょう。

子育ての喜びとつらさを、ともに共有し、お手伝いできたらと思っています。

お困りの際は、どうぞお気軽に当院小児科にご相談ください。



毎週水曜には予防接種外来を開いております。

各市町村での乳幼児健診にも携わり、健康維持の推進、発育・発達相談にも対応しております。

医療技術部から

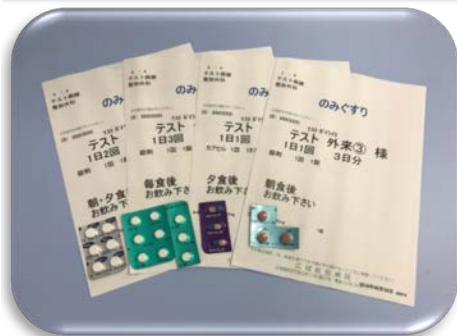
～ お薬 きちんと飲めていますか？ ～

～ 薬剤係 ～

今回はお薬の管理についてのお話です。
お薬は自身の体調のために、用法・用量を守って飲む必要があります。
しかし、どうしてもお薬を飲み忘れていたり、飲み間違えたりすることがあります。
これからお薬の管理を手助けする方法を紹介します。

一包化

同じ時間に飲むお薬を1つの袋にまとめることです。
お薬のシートから1錠、1錠取り出す必要もなく、袋の中に飲む必要のあるお薬が全て入っているので、飲み忘れ・飲み残しがなくなります。



お薬カレンダー

カレンダーにお薬をまとめることができます。
毎日カレンダーを見ることで、その日の飲み忘れ、間違えて2回飲むことも防ぐことができます。
また、カレンダーにお薬を入れる作業があるので、お薬の残りも確認できます。



お薬手帳

お薬手帳には、お薬の名前や用法・用量、処方された日数が記載されています。
お薬を入れる袋は、なくしたり破れたりすることがあります。
飲み方がわからなくなっても、お薬手帳を見直すことで、飲み間違いを防ぐことができます。



最後に

お薬は用法・用量をきちんと守って飲むことで効果が現れます。
これらの方法を試してみたい方は、医師・看護師・薬剤師にご相談下さい。

看護部から

～ チーム医療 他職種との連携 ～

～ 教育委員会 ～

私たち看護師は、心をひとつに「Do My Best」を合い言葉とし、「観て、聴いて、かんじて、最善の看護を提供する」ことを看護理念に掲げています。

患者様の視点に立ち、患者様が何を求めているか、必要としているかを考え、患者様が安全・安楽に入院生活を送れるよう、また、退院後も住み慣れた地域で安心して生活・療養ができることを念頭において日々看護を行っています。

病院では、医師や看護師のほかに、薬剤師、栄養士、運動機能の回復や維持のため訓練を行う理学療法士、日常生活を送るうえでの不安や困りごとに対する相談支援を行うソーシャルワーカーなどの専門職が患者様の療養生活を支えています。

そこで、今年度は、病院内のさまざまな専門職との連携をめざして、医師・検査技師・ソーシャルワーカーを講師に迎え、チーム医療研修を行っています。

1回目は手術センター長の黒川医師より、医師から見た看護師の姿や、普段、看護師と関わるなかで感じていることとお話ししていただきました。

また、医療分野の職種が増えるほど、調整を行う職種が必要であり、最もふさわしい立場にいるのは看護師である、他職種の仕事内容を知ることや、必要な情報を提供し、情報を共有することが大切であるとお話がありました。

研修に参加した看護師からは、「多職種から見た看護師像について知ることができた」、「チーム医療について考える機会となった」という意見が多かったです。

また、「チームとして最善の医療を提供するためには、情報の共有が大切と改めて感じた」という意見もありました。

一人ひとりの患者様の生活や療養の質を上げられるよう、それぞれの専門職が力を発揮するとともにチームとして情報を共有しながら協力・連携しあい治療やケアを行っていきたいと思います。



『ナースこぼなし』 その20

看護師となり3年目。患者様と接している際に、喜びを感じる時があります。

それは「笑顔」です。お話をする時など、患者様の笑顔を見られることが嬉しく、「ありがとう」という言葉も心に響き、やりがいを感じます。

また、患者様が退院される時にご自分の私服に着替えて笑顔で帰られる姿を見ることも、看護師になって良かったなと感じます。

これからも、患者様がより良く病院生活を過ごすことができるよう関わっていきたいです。

～ 日本糖尿病療養指導士の紹介 ～



管理栄養士（日本糖尿病療養指導士）

檜 山 峻 佑

こんにちは。私は栄養指導係の管理栄養士として勤務しております。

この度「日本糖尿病療養指導士（CDEJ）」という資格を取得しましたので御挨拶をさせていただきます。

■管理栄養士とは・・・

管理栄養士は基本的に4年制の大学で栄養学や公衆衛生学、食品学、調理学、解剖学、生化学、運動生理学、教育論など様々な分野を学び、専門のカリキュラムを取得後、管理栄養士の国家試験を受験します。

管理栄養士の活動の場は、医療、福祉、学校、行政、研究、スポーツなど多岐にわたります。

そのため、同じ管理栄養士であっても各々の職域に応じた専門的な深い知識が必要になります。

■日本糖尿病療養指導士を目指した動機

当院に入職し、栄養相談の業務を行う上で最も件数が多い疾患が糖尿病です。

一口に「糖尿病」と言っても1型糖尿病や2型糖尿病、糖尿病性腎症で透析導入直前の方、血糖コントロールが不良の方、若年で発症した方など様々です。

そういった方々の栄養相談や栄養管理を行っていく上で、力不足を実感し、糖尿病の知識を深めたいと考え日本糖尿病療養指導士

（CDEJ）の取得を目指しました。

■日本糖尿病療養指導士とは・・・

この資格を認定する日本糖尿病療養指導士認定機構は、糖尿病患者様の健康と福祉の向上のため、糖尿病療養指導についての豊かな知識と経験を持ち、わが国の医療法の下で療養指導チームの一員として質の保証された療養指導を行うことができるコメディカルスタッフの育成を目指し、日本糖尿病療養指導士の能力の検定と資格認定を目的に、日本糖尿病学会、日本糖尿病教育・看護学会、日本病態栄養学会が協力して設立されました。

日本糖尿病療養指導士の資格は糖尿病指導の一定の経験を積んだ看護師、薬剤師、臨床検査技師、理学療法士、管理栄養士が目指すことができ、専門の講習を受講後、自験例と筆記試験に合格した者に与えられ、現在は道内に948人の有資格者が在籍します。

■糖尿病における食事療法

糖尿病の治療は、合併症の発症・進行を予防するために高血糖を是正すること、つまり血糖コントロールがすべての基本となります。

血糖コントロールの手段は食事療法、運動療法、薬物療法の三つが柱となります。

そのなかでも、食事療法こそが最高の特効薬と言われています。

食事療法は薬を飲むわけでもなく、お金もかからないため軽視されがちですが、一番効果があり、また他の治療法（薬物療法、運動療法）の効果も助ける、もっとも基本になる重要な治療法です。

糖尿病における食事療法の重要性和正しい食生活を広め、実践に移して頂くことが私の役割だと感じています。

■日本糖尿病療養指導士として今後の目標

患者様ひとりひとりで病態や病識、生活習慣が異なるため、画一的な指導ではなく、個人個人に応じた親身な療養指導を行なっていき、努めていきたいと考えています。

医療は日々進歩するので、日本糖尿病指導士として認定された後も引き続き実践と研鑽を重ねて最新の知識・技能を身につける必要があります。

このため、日本糖尿病療養指導士の認定制度は5年毎の更新制となっていて、これから多くの研修に参加して更新に必要な単位を取得し、糖尿病の知識を深めていきたいと考えています。

《 当院での栄養・食事相談 》

平日毎日、1人30分程度の栄養相談を実施しています。

食事のことで気になることがございましたら、お気軽に主治医・看護師にお知らせください。

監修：栄養指導係 栄養士の卵が思い出のレシピを紹介

興部町の学校給食名物

秋鮭のコロッケ



光塩学園女子短期大学2年生

大石あさひさん(19)

興部町出身。管理栄養士を目指して勉強中。8月に当院で臨地実習を行いました。

通称：鮭コロッペ



● 材料 (1人分) ●

メークイン	100 g
秋鮭	20 g
玉ねぎ	10 g
茹でとうもろこし	5 g
茹で枝豆	5 g
油	2 g
塩	0.4 g
こしょう	0.08 g
卵	10 g
小麦粉	5 g
パン粉	8 g
サラダ油	10 g
レタス	15 g
トマト	30 g

● 栄養成分 ●

エネルギー	297 kcal
たんぱく質	9.9 g
脂質	15.0 g
炭水化物	29.9 g
食塩相当量	0.6 g

● 作り方 ●

- ① 生鮭は皮と骨をはずし、2cm角に切る。玉ねぎはみじん切りにする。フライパンに油を熱し、玉ねぎをしんなりするまで炒め、とうもろこし・枝豆・生鮭を加えて、鮭の色が変わるまで炒める。塩、こしょうで調味して火を止める。
- ② ジャガイモは皮をむいて大きめの一口大に切り、鍋に入れてかぶるくらいの水を加え、ふたをして中火にかける。煮立ったらふたをずらしてかけ、弱火で8～10分、ジャガイモがやわらかくなるまでゆでる。
- ③ ②の湯を捨て、再び火にかけて鍋をゆすりながら水気を飛ばし、粉ふき芋にする。火からおろしてマッシャーなどでつぶす。
- ④ ③を大きめのボウルにあげ、①を加えてよく混ぜ合わせ、塩、こしょうで調味する。
- ⑤ ④を丸く成型し、小麦粉、溶き卵、パン粉の順に衣をつける。
- ⑥ 揚げ油を170℃に熱して⑤を入れ、薄く色づき、パチパチと音がしてくるまで約5分揚げる。
- ⑦ 油をよくきって器に盛り、レタスとトマトを添える。



✿ コロッペとは・・・ ✿

約12年前に興部または道産の食材を使用し、興部独自のおかずを提供する目的で、興部町の給食センターで考案されました。

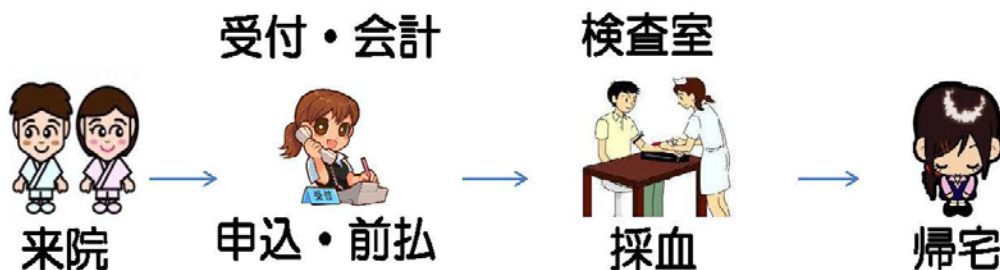
今では給食のおかずとして定着し、具材も鮭、ベーコン、帆立、焼き豚と、シリーズも増え、年4回程度提供されています。

クイック健診のお知らせ

検査の種類は8項目あります

- ♥ 貧血（貧血の有無、程度がわかります）
- ♥ 肝機能（肝臓の働きがわかります）
- ♥ 腎機能（腎臓の働きがわかります）
- ♥ 脂質（コレステロールのバランスがわかります）
- ♥ 血糖（血糖値や長期間の血糖状態がわかります）
- ♥ 肺機能（肺年齢がわかります）
- ♥ ピロリ菌（ピロリ菌感染の有無を調べます）
- ♥ エヒノコックス抗体検査（エヒノコックス感染の有無を調べます）

健診の流れ



※ 実施時間 午前9時～12時 午後1時～4時

各検査「500円(ピロリ菌検査1,000円、エヒノコックス抗体検査2,000円)」
となっており、最低1種類、最大8種類の検査を受診される方のご希望でお選びすることができます！



お問合せ先 広域紋別病院 0158-24-3111

病院行事報告

1. 「紋別観光盆踊り大会」

開催日・場所：平成30年8月19日（日）市内旧駅前通り

今年は初日が雨天中止になったため、最終日のみ約30名の職員が参加しました。ハッピーを新調したかいがあったのかガンバッタで賞をいただきました。



2. 「健康講座」

開催日・場所：平成30年8月30日（木）広域紋別病院2階大会議室

今年は「スクワット事始め!!～セクシーな高齢者を目指す～」と題し、当院の柳沢医師、木田理学療法士が講師として、約70名の地域住民の皆様に参加いただきました。



3. 「定期演奏会」

開催日・場所：平成30年9月27日（木）広域紋別病院1階ロビー

潮見中学校吹奏楽部による定期演奏会を開催しました。約70名の患者様や保護者、地域住民の方が耳を傾けていました。



職員の募集について

広域紋別病院では看護師・助産師・准看護師・療養介助員・看護助手を随時募集しています。募集要項の詳細は当院ホームページでご覧いただけるほか、紋別ハローワークでも求人票を掲載しています。電話でのお問い合わせは、下記までお願いします。

〇お問い合わせ先

広域紋別病院 事務部 総務課 職員係 Tel：0158-24-3111

病院ホームページ：http://www.mombetsu-hospital.jp/

編集後記

「紋別は災害の少ない街だ」とよく言われますが、今回の胆振東部地震においても、少しは揺れたかもしれませんが大きな被害には遭いませんでした。

しかし、被災地以外の他の地域と同じように停電、物流が途絶えてしまい、直接被害がなくてもこのようなことが起こることは思いもありませんでした。

常日頃からの備えが必要だと改めて思いました。

編集：広域紋別病院広報委員会

発行：広域紋別病院

〒094-8709

紋別市落石町1丁目3番37号

TEL・FAX 0158-24-3111

URL：http://www.mombetsu-hospital.jp/